

2025 DSF 中間発表会

Document Service Forum

SINCE 1997

A USER FORUM AIMED AT ENABLING
DIGITAL TRANSFORMATION (DX)
TO CREATE THE NEW DE FACTO STANDARD
FOR ON-DEMAND PRINTING.

2025 Document Service Forum
Reports Vol.68

2025.7.4 《FRI》：Kanazawa Tokyu Hotel



去る7月4日、今年は石川県金沢市にて『2025年DSF中間発表会』が開催されました。昨年年初の能登半島地震により開催が延期されておりましたが、今年は震災復興も兼ね、金沢での開催となりました。また、特別講演として、震災時に現場で何が起き、何が大切だったのかを、実際に現地で支援のために奔走された前金沢市長の山野之義氏にお話をいただきました。

《2025年中間発表会》

中間発表会は富士フィルムビジネスイノベーションジャパンGC営業統括部の不破晶子さんの司会進行で始まりました。

金沢出身の不破さんより開催地である金沢の文化である武家文化や加賀友禅、そして石川県特有の気候について紹介されました。



司会：不破 晶子さん

【DSF会長ご挨拶】

- 株式会社ユーメディア 今野 均 社長

金沢での開催は昨年計画されていましたが、2024年1月の地震の影響で2025年開催になったことや自身が経験された東日本大震災の話にも触れ、被災地支援と経済活動への貢献の重要性を話されました。またこのDSF中間発表会は、一年間の活動の中でここまでの活動の成果とこれからの残りの半年間の使い方というものをもみんなで共有する場であり、会員企業の皆様の次の一手につながるようなヒントが多くあふれるような会になればいいと思いますと述べられました。



今野会長 ご挨拶

【FBJご挨拶】

- 富士フィルムビBIジャパン 北陸支社 吉岡 東吾 支社長

続いて富士フィルムビジネスイノベーションジャパン北陸支社の吉岡支社長が登壇し、以前GC領域を担当していたことや現在北陸地区の責任者として金沢開催に関して感謝の意を述べられました。また能登半島地震についても触れ、現在の現地の様子や状況についても話されました。そして最後にこのあとの研究会の発表を期待しているとともにここ金沢を楽しんでくださいとの話で結ばれました。



吉岡 北陸支社長

このあと各研究会の発表に移りました。各研究会ともこれまで密度の濃い議論を重ねてきており、ここまでの進捗について各リーダーからの発表に入りました。

【デジタルマーケティング研究会】

●リーダー： ヤマゼンコミュニケーションズ株式会社 山本 堅嗣宣 社長

活動指針の一つ目はデジタルマーケティングの実践と共創、二つ目に生成AIと新技術を活用した顧客接点の最適化です。各社の事例共有や生成AIと新技術を活用した顧客体験の最適化、売上に直結するマーケティングの実践に焦点を当てて議論を行ってきました。特にAIの急速な進化に対応し、乗り遅れないよう活用法や最新情報を共有することの重要性を強調されました。これまでの活動報告として「Revoria Cloud Marketingの活用」や毎年恒例の「CES2025の視察基調報告」（アピックス重松氏）は、最新の情報がメンバーに共有されました。生成AIについては外部講師を招いて学び、その後メンバーがそれぞれ有料版のツールの活用を開始するなど、AIに関する感度の高さが示されました。後半に向けて研究会は売上直結型マーケティングの実践やAIの実証実験を通じて、より実践的かつ具体的な成果を目指すとして述べられました。



デジタルマーケティング研究会
山本リーダー

活動指針

- デジタルマーケティングの実践、共創
— 各社の事例や取り組みを共有しながら、実践的なノウハウを学び合い、成果につながるマーケティングを共同で実
- 生成AIと新技術を活用した顧客接点の最適化
— AIやツールを活用して、顧客一人ひとりのニーズに応じた情報提供や体験設計を行い、エンゲージメントの質を高める
- 売上に直結するマーケティングを実践する
— 単なる認知拡大にとどまらず、「購買」や「契約」といった成果に基づきつづけるマーケティング手法の確立を目指す

目指すべきゴール

デジタルマーケティングの利活用 導入⇒実践⇒実績へ！！

- CRM・SFA・MAなどの導入・活用を推進しより多くの実践、データの共有
- AIの活用研究
— 生成AIを活用した効率的なコンテンツ制作の実現
— 生成AIによる顧客体験の高度化・パーソナライズ
- SNSによるマーケティング活用研究
- NFCを使ったコミュニケーション・マーケティングの価値
- 新たなデジタル市場機動的な把握・先取りするための情報共有と学び
- FFB（人脈サービス、レボリアマーケティング活用研究
- GA4研修会

今後の活動予定

テーマ：デジタルマーケティングの利活用

- 株式会社東京文久堂・林田氏による最新のマーケティングツール紹介
- 基本である「売上に直結するマーケティングの実現」を目指し、積極的な情報共有を推進する。また、カオスマーケティング代表取締役佐宗氏による講話を企画中
- 生成AI研究
活用テーマを設定し、POC（概念実証）として参加企業各社が協働で検証・共有を行う予定。

【人財育成研究会】

●リーダー： 河北印刷株式会社 中條 遥 社長

今年度の活動テーマは「管理職としてのリーダーシップの育成」で、昨年メンバーがコミットした「私の目指すリーダーシップ宣言」の実践とそのフォローアップをテーマとしています。今年も10月に経営者にもご参加いただきメンバーの成長についてフィードバックを受ける予定です。人と人とのアナログなコミュニケーションに焦点を当て、各社での実践を通じて気づきや悩みを共有し、リーダーシップの育成を図っています。研究会の基本方針は、実行声明に基づきリーダーシップの実践を継続し行動変容を促すことです。個人の成長だけでなく、それが組織全体に良い影響を与え、最大化されることを目的としています。狙いは、自己の継続的な成長、新たな知見の獲得、組織への浸透、そして習慣の定着です。また、この人財育成についても、AIによるアドバイスが取り入れられています。後半の研究会では、参加者が経営者に対して自身の成長した姿を見せられるよう、継続して取り組んでいきます。



人材（人財）育成研究会
中條リーダー

人財育成研究会 テーマ

- 活動テーマ
➢ 管理職としてのリーダーシップの育成
～「2024年成私を目指すリーダーシップ宣言」の実践実施とフォロー～
- 目指すべきゴール（基本的な考え方）
* 各自コミットした《私の実行宣言》の実践とトライアンドエラー
* 新たな課題の抽出
* 上司・自分・部下の成長
※ 最終10月には今年も経営者層にご参加いただき、各社にフィードバックします。

コミットメントと今後の方針 (第1回研究会)

私のコミットメント2024年10月	私のコミットメント2024年11月	私のコミットメント2024年12月
1. 経営者層へのフィードバック 2. 自身の成長を促すための実践 3. 新たな課題の抽出	1. 自身の成長を促すための実践 2. 新たな課題の抽出 3. 経営者層へのフィードバック	1. 自身の成長を促すための実践 2. 新たな課題の抽出 3. 経営者層へのフィードバック

リーダーの共通課題 (第2回研究会)

- 1. 自身の成長を促すための実践
「思い込み」や「無意識な行動」はなくなるが、部下の成長や課題を促すための実践が難しく、リーダーが自分の考えに固執したりし、部下の成長を促すことが難しくなる。
- 2. 自身の成長を促すための実践
「思い込み」や「無意識な行動」はなくなるが、部下の成長や課題を促すための実践が難しく、リーダーが自分の考えに固執したりし、部下の成長を促すことが難しくなる。
- 3. 自身の成長を促すための実践
「思い込み」や「無意識な行動」はなくなるが、部下の成長や課題を促すための実践が難しく、リーダーが自分の考えに固執したりし、部下の成長を促すことが難しくなる。

自律的行動と目標共有による成長文化の醸成 (第3回研究会)

- 【テーマ】
メンバーの自律的成長と組織目標の達成を両立する文化をリーダーとしてどうやって醸成していくか
- 【課題】
・ 部下の主体性を引き出す難しさ。
・ 組織目標と個人目標の両方に達成していく
・ リーダーの模範行動
・ リーダー自身の課題や弱みに気づき、改善し続ける「葛藤のプロセス」をどのようにチームの成長につなげるか
- 一 数字だけでなく行動の目標をしっかりと定める
・ 凡事徹底
・ 組織の目標を上司、部下も含め皆で決めることで主体性を持つことができるのでは

【経営者の会】

●リーダー：株式会社明光社 矢野 剛 社長（発表者 事務局）

経営者の会では経営に役立つ情報を共有し、各社がバリューを高められる場を目指していきます。「人と組織」「新技術や設備」「AI・DX・メタバース」「サブスクリプション」の4つの視点で取り組んでまいります。今年度は「人と組織について」と「新技術や設備について」の2つに取り組むこととし、「人と組織について」では、世代間ギャップやコミュニケーションの課題を検討し、大学生とのコミュニケーションをテーマにした内容を検討します。「新技術や設備について」では、新たな技術の可能性を探索するため、富士フィルムビジネスイノベーションの海老名事業所にあるFuture Edgeの見学の実施を予定しています。



経営者の会
矢野担当理事
(代理発表 事務局 青木氏)

《今期取り組みたいテーマ》

(2025年度総会の議事より)

- 1. 人と組織について**
社員の高齢や価値観には、世代間で大きな隔りがあります。これからの時代にふさわしい働き方や組織づくりをテーマに、議論を深めていきます。また、「成果のない時代」においては、現場でのスピード的な判断がますます重要で、主体性のある社員を育成するために必要なものを、目標と一緒に考えていきたいと思っております。
- 2. 新技術や設備について**
新たな技術の可能性を、それぞれの市場や業界の視点から探っていきます。他社や異なる市場の視点が、新たな一歩を踏み出すためのヒントになるはずです。
- 3. AI、DX、メタバースについて**
他の研究会と共働しながら、これらの先端技術について学びを深め、経営への応用を考えていきます。先端技術を学びビジネスモデル構築の議論・検討会
- 4. サブスクリプションについて**
印刷業界とサブスクリプションモデルの接点を探り、新たな可能性を模索します。

《2025年度実施案と企画概要》

- 1. 人と組織について**
社員の意識や価値観には、世代間で大きな隔りがあります。これからの時代にふさわしい働き方や組織づくりをテーマに、議論を深めていきます。また、「成果のない時代」においては、現場でのスピード的な判断がますます重要で、主体性のある社員を育成するために必要なものを、目標と一緒に考えていきたいと思っております。
・ 大学生とのコミュニケーション（実施方法検討中）
 - 2. 新技術や設備について**
新たな技術の可能性を、それぞれの市場や業界の視点から探っていきます。他社や異なる市場の視点が、新たな一歩を踏み出すためのヒントになるはずです。
・ Future Edge+EPCオンライン見学（富士フィルムビジネスイノベーション海老名事業所）
- <継続検討項目>
- ・ AI、DX、メタバースについて
 - ・ 印刷業界のサブスクリプションについて

FutureEdge見学
9月金曜での日程調整中

4

【社会貢献活動】

●担当理事：株式会社オンデマンド 生島 裕久 社長

社会貢献活動は自分たちのためではなく人のための活動です。2025年度も継続して全国の視覚支援学校様へ「拡大本」の寄贈協力をしますのご協力お願いいたします。昨年協力いただいた会員企業様のご紹介と2025年度の必要数についてはリサーチ中です。この北陸地区において昨年は石川盲学校から20冊、福井盲学校から16冊のリクエストがありましたが、昨年は他の地域よりご提供いただきました。できれば地元での協力が望ましいので是非ご協力お願いいたしますと述べられました。



社会貢献活動
生島担当理事

2025年
DSF社会貢献活動

全国盲学校様向け

拡大本寄附協力のお願い

担当理事 生島 裕久
2025.7.4

ご参加感謝申し上げます。
本年もよろしく申し上げます。

2024年ご参加の会員様

アイシーエクスプレス ㈱	㈱アクセス
㈱アピックス	㈱アラジンイデア
㈱アルファビジネス	㈱ODPセンター
㈱オンデマンド	河北印刷 ㈱
共立速記印刷 ㈱	㈱コムラ
㈱三栄社	㈱白橋
㈱高崎共同計算センター	㈱東京文久堂
東洋美術印刷 ㈱	中西印刷 ㈱
㈱野毛印刷社	㈱丸信
㈱明光社	ヤマゼンコミュニケーション ㈱
㈱ユーメディア (アイワイエス ㈱、取寄 ㈱)	

10月ごろから始まるよ

平均40冊だよ。

みんなで頑張ろう

【特別講演】

●ソフトバンク株式会社 法人統括 戦略顧問 山野 之義 様 (元金沢市長)

「能登半島地震での取り組み」

山野氏は、石川県金沢市出身。1997年にソフトバンクを退社し金沢に戻り市議会議員、市長を務められました。2022年2月に市長を退任後、ソフトバンクに復職。現在は自治体DXの推進や、金沢大学での講義、石川県内や北陸三県の自治体・民間企業への営業活動を行っています。

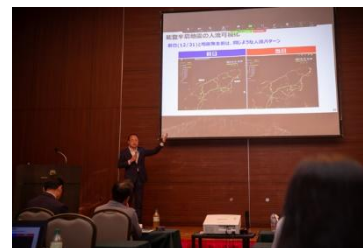
講演では能登半島地震発生時の状況について、特に通信インフラがいかに重要であったかを事実に基づいた具体的な内容で説明されました。Starlinkの早期設置は自衛隊員やDMATの活動に大きく貢献しました。特に、DMATの医療従事者が患者の状況を確認したり、家族と連絡を取る手段がない中、StarlinkによるWi-Fi接続が「本当に助かる」と感謝された。これは、災害初期における通信が「命の情報インフラそのもの」であることを示していると説明されました。

災害時における通信環境は普段から使用していなければ有事の際に使いこなせないという課題についても指摘されました。災害時に備蓄されている通信機器などが、普段から使用されていないと緊急時に機能しない可能性があり、日常的な利用が不可欠であることも強調されました。

災害復旧における持続的な仕組みの必要性や金沢市長としての11年間の経験と現場での活動などが他の自治体との連携における強力な営業ツールとなっていることも述べられました。会場からのビジネスとしての利益に関する質問に対して、現在はビジネスとしてまだ利益が出ていないものの、他の自治体との仕事に繋がっており、ソフトバンクは民間企業の支援を得て持続可能な仕組みを構築していく考えを示され講演が終了となりました。



ソフトバンク株式会社
山野 之義 氏



自己紹介 Introduction



ヤマノ ユキヨシ
山野 之義
(62歳)

民間・行政の経験を活かし、各々のDX推進を支援

経歴

- 1987年 慶應義塾大学 文学部経済学科 卒業
- 1990年 日本ソフトバンク (当時) 入社
- 1996年 ソフトバンク 退社
- 1995年 金沢市議会議員選挙 立候補 (落選)
- (以降、連続4選)
- 2010年 金沢市長 就任
- 2022年 金沢市長 退任
- 2022年 金沢大学非常勤教授 就任
- 2022年 ソフトバンク 戦略顧問 就任

市政活動

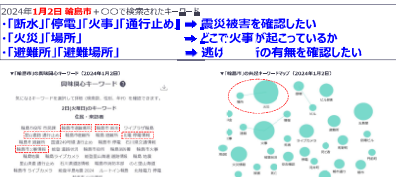
- 「**デジタル・トランスフォーメーション**」推進
- 金沢市の DX 化を力強く推進
- 金沢マラソン開催等 金沢市の発展力向上に努める
- 文化都市金沢の魅力向上に尽力



能登半島地震時のDS.INSIGHT 活用事例

2024年1月26日 前都市・〇〇で稼働されたキーポイント

- 「断水」「停電」「火事」「通行止め」⇒ 震災被害を確認したい
- 「火災」「場所」⇒ どこで火事が起こっているか
- 「避難所」「避難場所」⇒ 逃げ 先の有無を確認したい




医療MaaS DMAT対応 SoftBank

「ライフラインを搭載した防災車両」平常時は医療・行政MaaSとして活用

必要な設備を搭載した防災専用車両

- Starlinkアンテナ
- 無線通信で受発した緊急通報の送信
- 移動型Wi-Fiの提供
- 移動型Wi-Fiの提供

医療・移動市場としての活用

- 災害発生時
- 災害発生時
- 災害発生時

(医療MaaS)



【開催地DSF会員企業のご挨拶】

●宮下印刷株式会社 宮下 光信 社長

全国から金沢にお越しいただいた参加者の皆様への感謝の意を述べられました。思いを理解し共感した上で表現することの重要性を強調し、輪島、珠洲、能登の話から、自分たちのミッションとして、どのように価値を提供し人々の生活に寄り添うかを再確認したと話されました。また、思いを行動に移し伝えることの誇りと環境変化に対応した新たな挑戦、そして地域貢献の重要性について話されました。



宮下印刷株式会社
宮下社長

【DSF事務局長挨拶】

●富士フイルムBIジャパン株式会社 青木 稔

山野氏の講演から多くの学びがあったと述べました。金沢会場には約100名が参加し、各研究会での活発な議論とこれまでの研究会活動の取り組みに関する熱量を感じていると報告。各研究会では共通してAIの話題が増えていることに言及し、企業内および個人でのAI活用のルール作りが研究会でも議論されていると話されました。そして今後も研究会に参加し、一緒に活動していきますと述べられました。



青木事務局長

【DSF副事務局長挨拶】

●富士フイルムBI株式会社 渡辺 正隆

新しく副事務局長に就任し自己紹介をされました。30年間の営業職からのキャリアチェンジと新たな仕事に対する刺激と喜びを感じていると述べ、GC事業やグローバルな視点も踏まえ、DSFの活動に新たな付加価値を加え、DSF自体と会員企業の事業発展に貢献していきたいと抱負を語りました。



渡辺副事務局長

【DSF副会長挨拶】

●共立速記印刷株式会社 笹井 靖夫 社長

閉会の挨拶として、山野氏の講演から災害に対する平時からの備え、全体をコーディネートする仕組みの重要性を学んだと述べられました。また、災害時における紙の重要性、そして常に新しいことに挑戦し、既存の価値に付加価値をつけていくことの大切さを強調しました。各研究会の進捗にも触れ、発表のポイントを伝えられ中間発表会の締めのご挨拶として閉会のご挨拶とされました。



笹井副会長



《全体集合写真》



《リモート参加》

【懇親会】

懇親会は引き続き同ホテルで行われました。会のオープニングは石川県加賀を代表する伝統芸能のひとつ和太鼓響架(わだいききょうか)をご覧くださいました。演奏は、石川県白山市を拠点として活動されている若手女性和太鼓グループのお二人で幼いころから和太鼓に打ち込んできたメンバーが集まって、「女性ならではのしなやかさと、力強い演奏をあわせ持つ表現」を追求され日々努力と研鑽を重ねながら、和太鼓の魅力を多くの人に伝えるべく精力的に活動をされています。司会進行は株式会社白橋の白橋昌磨様にお願ひし、中西印刷株式会社の中西明日輝様の乾杯のご発声でスタートしました。懇親会に講演いただいた山野氏にもご参加いただきました。暫くの歓談後、今日の山野氏の講演内容と加賀地方伝わる歌舞伎の演目で有名な「勸進帳(かんじんちよう)」の舞台となった安宅(あたか)の関のストーリーにちなみ、『何かが起きたときにも、咄嗟に対応できるように日頃から実践して使えるように取り組まれていることや習ってきたことは何ですか?』をテーマに会員の皆さんに一言語っていただきました。会も進む中、DSF理事 株式会社オンデマンドの生島社長に中締めをお願いし、後半の活動に期待することを誓い合いお開きとなりました。



《和太鼓響架》



《乾杯ご発声》



《司会》



《懇親会風景》



《懇親会集合写真》



【懇親ゴルフ】

翌日は曇り空ではありましたが、猛暑ではない天候の中、懇親ゴルフが開催されました。今年は女子のステップアップツアーで使用されている「ゴルフクラブ ツインフィールズ ゴールドコース」の開催で後半は少し雨に降られましたがコミュニケーションを深められるコンペとなりました。



今回もご参加いただいたすべての会員企業の皆様、および準備より携わっていただいた関係各位の皆様のご協力により2025年中間発表会を無事終了できましたことに事務局より感謝申し上げます。

次回2025年11月14日（金）には2025年全国発表大会を予定しております。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

ドキュメントサービスフォーラム事務局
萬ヶ谷 治
青木 稔